

グリーン建築の家

090-8938-4016 : 0749-72-3908

グリーン建築で家を建てる!

新築はもちろんですが、古い良き物は沢山あります。ただ気がつかないだけなのと、古い物は捨てる習慣がまだ残っています。建築資材は特にそんな傾向に有ります。写真は古門と灯籠ですが、危うく廃棄される所を助けてきました。古門は瓦を葺き替えれば、元に戻り生き返ります。灯籠は半分土に埋もれていた為、掘り起した所、なんとばけ灯籠でした。築150年? 家だけでなく人が住む屋敷には歴史があるんだと、また勉強になりました。

後は検査を待つばかり

築150年? 古い門ですが、瓦を葺き替え再築です。



出てきました
これも古い!

ばけ灯籠と言
うのだそうです

コイツも生かし
ますよ。

棟梁の一言

日本には日本の家造り!

WB講法をご存知ですか、私も1年前から知りました。簡単に言うと家自体が呼吸するんです。嘘みたいですが本当の話。部屋ないの空気が壁を通気するのです。そしてその空気を上昇気流で、縁の下から天井、屋根へそして外部に逃がします。それじゃ冬寒すぎませんか? 外気が下がったら、自然に換気口がふさがり外気をヤットアウト! 技術的に詳しいことは、WB講法と検索してみてください良くわかりますよ。

そこで、私はこの講法が古民家にあてはまらないかと考えて、今回益田町で実行しています。田舎家は冬寒いのが弱点でした。しかしこの講法だと冬暖かく過ごせます。冬あったかい田舎家(古民家)って最高でしょ! いつでも公開していますので、気楽に見に来てください。



床をめくりました。



ベタ基礎打つ前のメッシュ加工



土間コンクリー打てました。



2013/06/20

根がらみを通し古民家自体を、2尺(60cm)上げて基礎(立上げ)を作り、耐震補強と床換気口を設けて、冬暖かく夏涼しい古民家を創ります。さ~上手く古民家上がるかワクワクします。

屋根瓦は下ろしたけれど、家自体が約80tと積算したので、5トンジャッキ28個使えば140トンだから、上がるでしょ!

